

十和田市事務事業評価シート

【事務事業の概要】

整理番号	③-25	実施計画番号		事業開始年度	平成25年度
事務事業名	ポイント改良の実施			事業終了年度	
担当課名	土木課			事務の種類(選択)	自治事務
根拠法令等	道路法		関連事務事業		
背景や経緯等	幹線道路における危険な箇所や混雑しやすい交差点等について、ポイント改良整備する事業を実施する。 (ポイント改良整備計画(平成26年5月制定))				
事務事業の目的	安全で良好な道路環境を提供する。				
実施状況	交差点2箇所の整備計画に対して、2箇所を着手した。				

【人件費の推移】

		26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
正職員	従事者数(人)	2	2	2
	活動日数(日)	30	30	30
	人件費(千円)	2,160	2,160	2,160
正職員以外(選択↓)	従事者数(人)			
	活動日数(日)			
	人件費(千円)			

【事業費の推移】

		26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
事業費合計(千円)		2,000	3,000	16,000

【指標】

活動指標	活動指標名①		事業着手箇所数			
	計算式等		単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
			箇所	1	2	1
	活動指標名②		改修済箇所数			
	計算式等		単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
			箇所	4	6	7
成果指標	成果指標名①		対象箇所の改修率			
	計算式等		単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
	改修済箇所 /対象箇所(18箇所)	%	目標値	22.2	33.3	38.9
			実績値	22.2	33.3	
			達成度(%)	100%	100%	
	成果指標名②					
	計算式等		単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
			目標値			
		実績値				
		達成度(%)				

十和田市事務事業評価シート

【担当課による検証】

ポイント		検証(選択)	評価	点数	合計	検証の理由				
妥当性	① 市民ニーズ等から見る妥当性 市民ニーズや時代潮流の変化により、事務事業の役割が薄れていないか	A 薄れていない B 幾分薄れている C 薄れている	A	2	4	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <td style="text-align: right;">存在意義の見直しの余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 4</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="font-size: small;">混雑箇所、危険箇所、町内会からの要望箇所が多く、早急な整備が必要である。</td> </tr> </table>	存在意義の見直しの余地	0 / 4	混雑箇所、危険箇所、町内会からの要望箇所が多く、早急な整備が必要である。	
	存在意義の見直しの余地	0 / 4								
混雑箇所、危険箇所、町内会からの要望箇所が多く、早急な整備が必要である。										
② 実施主体である妥当性 行政が実施することが妥当か(民間と競合していないか)	A 妥当である B あまり妥当ではない C 妥当ではない	A	2							
有効性	③ 活動指標から見る有効性 活動指標の実績は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A	2	6	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <td style="text-align: right;">成果向上の余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 6</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="font-size: small;">2ヶ年の継続整備としているため、1年での完了とはならないが、計画的に推移している。</td> </tr> </table>	成果向上の余地	0 / 6	2ヶ年の継続整備としているため、1年での完了とはならないが、計画的に推移している。	
	成果向上の余地	0 / 6								
	2ヶ年の継続整備としているため、1年での完了とはならないが、計画的に推移している。									
④ 成果指標から見る有効性 成果指標の目標達成状況は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A	2							
⑤ 事務事業の見直しの余地 成果を向上・安定させるため、事務事業の見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A	2							
効率性	⑥ 事業費の削減の余地 事務手順の見直しや正職員以外での対応により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2	6	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <td style="text-align: right;">コスト削減の余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 6</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="font-size: small;">既存の道路を有効に活用するなどコスト削減に努めている。</td> </tr> </table>	コスト削減の余地	0 / 6	既存の道路を有効に活用するなどコスト削減に努めている。	
	コスト削減の余地	0 / 6								
	既存の道路を有効に活用するなどコスト削減に努めている。									
⑦ 他の事務事業との統合・連携 類似又は関連事業との統合・連携により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2							
⑧ 民間委託等 民間委託・指定管理者・PFI等により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2							
公平性	⑨ 受益の偏り 現在の受益は公平か。特定の個人・団体に受益が偏っていないか	A 偏っていない B 多少偏っている C 偏っている	A	2	4	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <td style="text-align: right;">受益者負担適正化の余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 4</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="font-size: small;">道路の現状や交通量、町内会からの要望等を考慮し、整備の優先公平・効率的に計画し、整備を実施している。</td> </tr> </table>	受益者負担適正化の余地	0 / 4	道路の現状や交通量、町内会からの要望等を考慮し、整備の優先公平・効率的に計画し、整備を実施している。	
	受益者負担適正化の余地	0 / 4								
道路の現状や交通量、町内会からの要望等を考慮し、整備の優先公平・効率的に計画し、整備を実施している。										
⑩ 受益者負担の見直しの余地 現在の受益者負担は適切か。見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A	2							
現在の適性					20 / 20	改善の余地	0 / 20			

【点数化による検証】

当該事業の現在の適性は20点中 **20** 点です。

当該事業の改善の余地は20点中 **0** 点です。

【担当課長による評価】

当該事業の今後の方向性(選択) ※事業終了年度がH27の場合は回答不要 ⇒

現状のまま継続

方向性の理由 ※事業終了年度がH27の場合は回答不要

安全で良好な道路環境を提供するため、ポイント改良整備を継続実施する。

今後の具体的な取組方策と狙う効果 ※事業終了年度がH27の場合は、『事業を実施したことにより今後見込まれる効果』を記載してください。

既存の道路を有効に活用し、徹底したコスト削減により整備し、道路の安全性向上や混雑の解消を図る。